

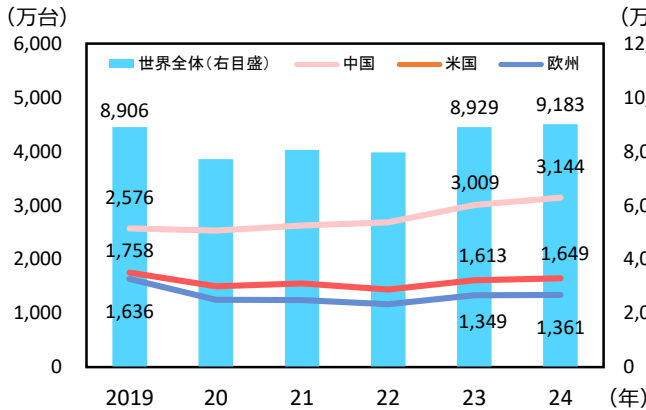
2024年の世界の自動車販売動向 ～EV・PHVの普及が続く中国市場と日系メーカーの動き～

拡大続く中国市場

2024年の世界の新車販売台数は9,183万台（前年比+2.8%）と前年を上回りました。主要市場別にみると、米国（1,649万台：同+2.2%）および欧州（1,361万台：同+0.9%）は小幅増加にとどまり、コロナ禍前の2019年の水準を下回る一方で、中国（3,144万台：同+4.5%）は堅調な伸びを続け、2019年比では+22.0%と市場拡大が続いています（図表1）。

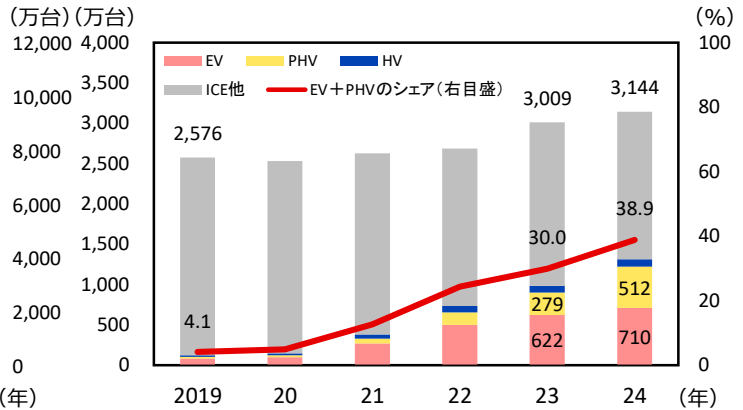
中国の自動車需要をけん引しているのはEV・PHVで、政府の強力な補助金政策もあり、2024年のEV・PHVの販売台数は1,222万台と自動車販売全体の4割近くを占めるまでになっています（図表2）。

図表1 世界の国別販売台数の推移



(注) 欧州は、ドイツ、フランスなど西欧17か国が対象
(資料) マークラインズ資料より、ひろぎんHD経済産業調査部作成

図表2 中国市場のパートレイン別販売台数の推移



(資料) マークラインズ資料より、ひろぎんHD経済産業調査部作成

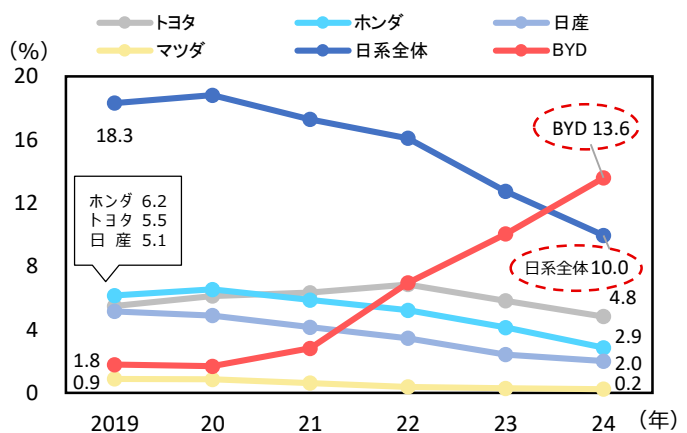
苦戦が続く日系メーカー

こうした中国市場に進出している日系メーカーは、EV・PHVの投入の遅れなどから苦戦が続いています。因みに、日系メーカー7社のシェアは2019年の18.3%から2024年には10.0%と大きく低下し、商品力の高いEV・PHVを相次ぎ投入し急成長しているBYD1社を下回るまでに落ち込んでいます（図表3）。

こうした状況を打破するため、日系メーカーの中にはEV・PHV関連技術で先行する中国メーカーと連携を強化する動きも出てきています。

マツダは共同開発した新型EV・PHVを2024年後半に投入（EZ-6）、トヨタも2025年前半に投入する予定（bZ3）で、現地ニーズに対応した柔軟な取り組みによる日系メーカーの挽回攻勢が期待されます。

図表3 中国市場における日系メーカーのシェア推移



(注) 日系全体は、スズキ、三菱重工、いすゞも含む
(資料) マークラインズ資料より、ひろぎんHD経済産業調査部作成

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：土居（TEL082-247-4958）までお願いします。